

## 8/26 テープカットで稼動祝う

置戸町戸籍総合システムの稼動式が8月26日、役場庁舎1階の町民生活課で行われ、テープカットや井上町長による第1号戸籍証明書の発行で稼動を祝いました。戸籍事務の電算化により、事務負担が大きく軽減され、より迅速で正確な事務処理が可能となるほか、住民への窓口対応の時間短縮も図られるなど、住民サービス向上に期待を込めてのスタートとなりました。



## 8/29 土に思いを込めて

中央公民館で8月29～30日の2日間、陶芸教室が開催され、延べ25人が参加しました。同館の主催で、女満別窯主宰の伊藤国雄さん・伊藤初江さんが講師を務めました。今回は、土をこね、マグカップや皿といった参加者それぞれの好みの器を形作ったところで作業を終了。全作品は色付けをした後、陶芸サークルの皆さんが窯で焼き、一人ひとりに返却されます。



## 9/4 日本各地の伝統芸能を披露

置戸小学校芸術鑑賞事業「民族歌舞団こぶし座」公演が9月4日、同校体育館で開催されました。こぶし座は、函館市を拠点にするNPO法人で、日本各地の伝統芸能を伝える活動を行っています。この日の公演では、道南地方に伝わる江良杵振り舞や鳥舞、沖縄舞踊などを次々と披露し、また、小学生や先生が踊り手として飛び入り参加する場面もあり会場を沸かせていました。



## 9/6 開町100周年に向けて始動

開町100周年記念事業の実施に向けた第1回企画委員会が9月6日、中央公民館で開かれました。この日は、企画委員会が担う役割や記念事業の基本テーマ、今後のスケジュールなどを全体で確認。委員長を務める井上町長は「先人の苦勞を忘れず、町民一丸となって、開町から百年という大きな節目をお祝いしたい」と話し、2年後の記念事業成功に向け、協力を呼びかけていました。

